⑷　使用料等の変更、財産の処分その他の歳入の増加に関する状況
使用料及び手数料は、平成19年度に実施した引き上げなどの見直しに基づき、引き続き収入確保に努めた。
また、高松ズリ山の採取に向けた取り組みを開始したほか、金融機関店舗への市庁舎の有償貸与などにより収入確保を図った。

※当該年度までの累積実績額：387百万円）
（うち一般財源相当額：８百万円）

⑸　超過課税又は法定外普通税による地方税の増収に関する状況
法令上の上限の税率などを踏まえて平成19年度に行った見直しを継続して実施した。

※当該年度までの累積実績額：319百万円）
（うち一般財源相当額：319百万円）

2　実質赤字解消の状況
別紙第２参照
3　財政再生年次総合計画
別紙第３参照
4　連結実質赤字解消の状況等
別紙第４参照
5　再生振替特例債の償還の状況
別紙第５参照
6　健全化判断比率の状況
別紙第６参照
7　その他財政の再生に必要な事項の措置の状況
財政再生計画の策定後に生じた新たな諸課題に対応するため、事務事業の必要性や緊急性などを十分検討した上で、財源確保を図りながら、平成26年度は計４回の計画変更を行った。

第２　実質赤字解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	平成25年度（第５年度）	平成26年度（第６年度）	平成38年度（第18年度）（実質最終年度）	平成41年度（第21年度）（最終年度）
当初計画　A		32,199,466	0	0	0	0	0	0	0
解消実績額　B		32,624,183							
現在計画　C		32,624,183	0	0	0	0	0	0	0
B－A又はC－A		424,717	0	0	0	0	0	0	0
赤字残額	32,199,466	0	0	0	0	0	0	0	0
再生振替特例債の未償還元金		32,199,000	32,199,000	32,199,000	32,199,000	30,115,752	28,001,139	0	0

第３　財政再生年次総合計画
1　一般会計等の実質収支

（単位：千円）

区分＼年度	平成26年度												
	計画額　A		予算額		当該年度決算額　B		翌年度繰越額　C		B＋C　D		D－A		備考
歳入	歳入額	一般財源	歳入額	一般財源	歳入額	一般財源	歳入額	一般財源	歳入額	一般財源	歳入額	一般財源	
1　地方税	829,624	829,624	829,624	829,624	855,247	855,247	0	0	855,247	855,247	25,623	25,623	地方税（市民税、固定資産税など）26百万円、地方交付税（普通交付税、特別交付
2　地方譲与税	61,828	61,828	61,828	61,828	63,959	63,959	0	0	63,959	63,959	2,131	2,131	